

Briefing Transcription

|| 2024 年 11 月期決算説明文字起こし ||

AHC グループ株式会社

7083 東証グロース市場

企業情報はこちら >>>

紹介動画はこちら >>>

2025 年 1 月 30 日 (木)



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 目次

■ 出演者	01
■ 決算説明	02

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

■ 出演者

AHC グループ株式会社
代表取締役社長

荒木 喜貴様

決算説明

2025 年 1 月 17 日



2024年11月期 決算説明資料

AHCグループ株式会社
証券コード：7083



■ AHC グループ荒木

皆様、ご視聴ありがとうございます。AHC グループ株式会社代表取締役社長荒木喜貴です。
2024 年 11 月期決算の内容について、ご説明させていただきます。

1. 2024年11月期 実績

連結決算概要（前期比）

1

■ 既存事業所の売上の回復と前期に開設した事業所が順調に立ち上がり、売上高は前期比353百万円増の6,268百万円、営業利益は前期比124百万円増の144百万円となった

	2023年11月期 実績 (2022/12～2023/11)		2024年11月期 実績 (2023/12～2024/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,915	100.0%	6,268	100.0%	353	6.0%
売上原価	5,401	91.3%	5,569	88.8%	167	3.1%
売上総利益	513	8.7%	699	11.2%	185	36.1%
販売費及び一般管理費	493	8.3%	554	8.8%	61	12.4%
営業利益	20	0.3%	144	2.3%	124	609.0%
経常利益	70	1.2%	154	2.5%	84	119.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	67	1.1%	98	1.6%	30	44.9%

(単位：百万円)



2025 AHC GROUP INC.

まずは連結決算概要を説明します。前期との対比では、既存事業所の売上の回復と前期に開設した事業所が順調に立ち上がり、売上高は 62 億 6800 万円と前期 59 億 1500 万円に対して 3 億 5300 万円増加（前期比 6.0% 増）しました。

売上原価は 55 億 6900 万円と前期 54 億 100 万円に対して 1 億 6700 万円増加（同 3.1% 増）、販売費及び一般管理費は 5 億 5400 万円と前期 4 億 9300 万円に対して 6100 万円増加（同 12.4% 増）しました。

AHCグループ株式会社 | 2025年1月30日(木)
7083 東証グロース市場

決算説明

これらを受けて、営業利益は1億4400万円(同7.1倍)、経常利益は1億5400万円(同2.2倍)で着地しました。

1.2024年11月期 実績 連結決算概要(修正予想比) 2

- 売上高は福祉・介護・外食のいずれも予想を達成した
- 営業利益は、販売費及び一般管理費の上昇により予想を下回ったものの、経常利益・当期純利益については、予想を上回る結果となった

(単位: 百万円)

	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)		2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)		修正予想比 増減額	修正予想比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,236	100.0%	6,268	100.0%	31	0.5%
営業利益	151	2.4%	144	2.3%	△6	△4.2%
経常利益	145	2.3%	154	2.5%	8	6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	1.5%	98	1.6%	7	8.4%

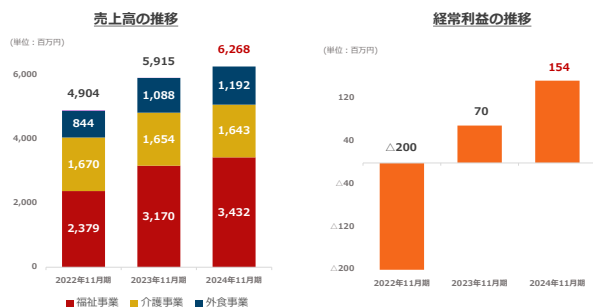


2025 AHC GROUP INC.

次に修正予想との対比です。売上高は福祉・介護・外食のいずれも計画を達成し、予想に対して3100万円増加しました。営業利益は販売費及び一般管理費の増加により計画を下回り、予想に対して600万円減少したものの、経常利益・当期純利益については予想を上回る結果となりました。

1.2024年11月期 実績 連結業績推移(通期) 3

- 売上高は初めて6,000百万円を達成
- 経常利益については前期の2倍超となる154百万円となった



2025 AHC GROUP INC.

連結業績推移は、売上高が初めて60億円を達成しました。経常利益は前期比2倍を超える1億5400万円となりました。

AHCグループ株式会社 | 2025年1月30日(木)
7083 東証グロース市場

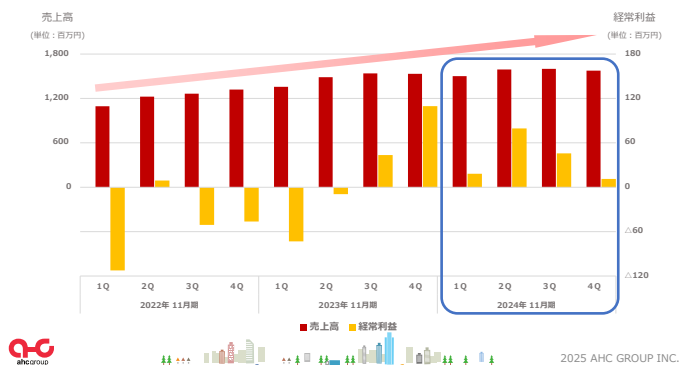
決算説明

1.2024年11月期 実績

四半期推移

4

- 2024年11月期は、各四半期を通じて経常利益を確保することができた



四半期推移は、各四半期を通じて安定して経常利益を確保できました。

1.2024年11月期 実績

売上原価・販売費及び一般管理費

5

- 売上原価は物価の高騰などで食材費率が増加した一方、消耗品費・水道光熱費は節減することができ、売上原価率の改善に寄与した
- 販売費及び一般管理費については、売掛金の一部に貸倒損失を計上した他、体制強化や本社業務拡大のための費用が増加した

(単位: 百万円)

	2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)		2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	5,915	100.0%	6,268	100.0%	353	6.0%
売上原価	5,401	91.3%	5,569	88.8%	167	3.1%
(人件費)	2,634	44.5%	2,693	43.0%	59	2.2%
(原価外食食材費)	549	9.3%	618	9.9%	68	12.4%
(消耗品費)	112	1.9%	96	1.5%	△15	△14.1%
(水道光熱費)	130	2.2%	124	2.0%	△6	△5.0%
(その他)	1,974	33.4%	2,037	32.5%	62	3.2%
販売費及び一般管理費	493	8.3%	554	8.8%	61	12.4%
(人件費)	93	1.6%	90	1.4%	△3	△4.0%
(その他)	399	6.8%	464	7.4%	64	16.2%
営業利益	20	0.3%	144	2.3%	124	609.0%

ahcgroup 2025 AHC GROUP INC.

次に売上原価・販売費及び一般管理費についてです。売上原価は前期比1億6700万円増加しました。また、構成比率は前期91.3%から今期88.8%と2.5pt減少しました。内訳としては、食材費は物価の高騰などで金額・構成比共に増加し、人件費は前期開設した事業所の立ち上がりなどにより金額は増加したものの構成比は下がっています。一方、消耗品費や水道光熱費は節減でき、金額・構成比共に原価率の減少に寄与しました。

販売費及び一般管理費は売掛金の一部に貸倒損失を計上したことで6100万円増加しました。

AHCグループ株式会社 | 2025年1月30日(木)
7083 東証グロース市場

決算説明

1.2024年11月期 実績

営業利益の増減要因

6



営業利益の増減要因では、福祉事業の売上増加が大きく貢献しました。

1.2024年11月期 実績

セグメント別 売上・利益 概要

7

- 福祉事業は前期開設事業所の順調な立ち上がりと既存事業所の稼働が向上し、売上高・営業利益ともに前期を上回った
- 介護事業は3事業所を閉鎖したため、前期比で売上高は下回ったものの、人員の再配置などで運営の効率化を図り営業利益(損失)は改善した
- 外食事業は前期開店の店舗が順調に推移し、売上高・営業利益ともに前期・予想を上回った

(単位: 百万円)

		2023年11月期 実績 (2022/12~2023/11)	2024年11月期 予想 (2023/12~2024/11)	2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)	前期比 増減額	修正予想比 増減額
		金額	金額	金額		
福祉事業	売上高	3,170	3,421	3,432	262	10
	営業利益	151	268	267	115	△1
介護事業	売上高	1,654	1,636	1,643	△10	7
	営業利益	△40	△11	△28	11	△16
外食事業	売上高	1,088	1,179	1,192	104	13
	営業利益	47	79	80	33	1
調整額	売上高	2	—	—	△2	—
	営業利益	△138	△185	△174	△36	10
計	売上高	5,915	6,236	6,268	353	31
	営業利益	20	151	144	124	△6

調整額: 各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去

2025 AHC GROUP INC.

次にセグメント別 売上・利益の概要です。

福祉事業では、前期に開設した事業所が順調に立ち上がったことや既存事業所の稼働が向上したことで、売上高は前期比2億6200万円増の34億3200万円、営業利益は同1億1500万円増の2億6700万円となりました。

介護事業では、事業所を閉鎖したことなどにより、売上高は前期比1000万円減の16億4300万円となったものの、人員の再配置などで運営の効率化を図り、営業利益は同1100万円改善し2800万円の赤字となりました。

外食事業では、前期に開店した店舗が順調に推移し、売上高は前期比1億400万円増の11億9200万円、営業利益は同3300万円増の8000万円となりました。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

1.2024年11月期 実績

事業所（拠点）の新規開設

8

2024年11月期は合計2事業所を開設

修正計画(通期) : グループホーム1(10居室)、就労継続支援B型1
実績(通期) : グループホーム1(10居室)、就労継続支援B型1

■福祉事業：2事業所開設

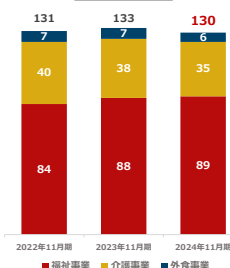
就労継続支援B型 1事業所
・「TODAY弁天」(2月)

グループホーム 1事業所
・「Beetle高倉町2号館」(10月)

就労移行支援事業所を1事業所リニューアル
・「就労移行支援TODAY吉祥寺」
→「manaby吉祥寺事業所」(8月)

※福祉 グループホーム 1事業所閉鎖
介護 デイサービス 3事業所閉鎖
外食 居酒屋 1店舗 閉鎖

事業所数の推移



2025 AHC GROUP INC.

次に2024年11月期の事業所開設状況について説明します。福祉事業は就労継続支援B型を1事業所、共同生活援助を1事業所10居室開設しました。さらに、就労移行支援事業所を1事業所manaby業態としてリニューアルしました。また、人材の再配置を行い、事業所・店舗の運営効率化を図るため、福祉1事業所・介護3事業所・外食1店舗を閉鎖しました。

グループ全体では、福祉89事業所291居室・介護35事業所・外食6店舗の合計130事業所となりました。

1.2024年11月期 実績

貸借対照表の増減要因

9

(単位：百万円)

	2023年11月期実績	2024年11月期実績	前期比増減額
流動資産	3,188	3,568	380
固定資産	2,058	2,229	171
(有形固定資産)	1,225	1,239	13
(無形固定資産)	340	303	△37
(投資その他の資産)	491	686	194
総資産	5,246	5,798	551
負債	4,089	4,593	503
(流動負債)	972	1,251	278
(固定負債)	3,116	3,341	224
純資産	1,157	1,204	47

■流動資産の増減要因

➢ 売上高増加による現金及び預金の増加(+371百万円)

■固定資産の増減要因

➢ 投資不動産の取得による増加(+95百万円)
➢ 投資有価証券の取得による増加(+89百万円)

■負債の増減要因

➢ 借入金の増加(+349百万円)
➢ 未払法人税の増加(+43百万円)

■純資産の増減要因

➢ 繰越利益剰余金の増加(+98百万円)
➢ 自己株式の増加(△34百万円)



2025 AHC GROUP INC.

次に貸借対照表の増減を説明します。

流動資産は、売上高の増加などにより前期末より3億8000万円増加し、固定資産は、投資不動産や投資有価証券の取得により前期末より1億7100万円増加しました。負債は、借入金が増加したことで前期末より5億300万円増加しています。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

1.2024年11月期 実績

キャッシュ・フローの状況

10

(単位: 百万円)

	2023年11月期 実績	2024年11月期 実績
税金等調整前当期純利益	75	148
営業活動による C F	97	439
有形固定資産の取得による支出	△364	△224
有形固定資産の売却による収入	315	1
投資有価証券の取得による支出	—	△89
事業譲受による支出	△23	—
投資活動による C F	△94	△358
長期借入れによる収入	560	933
借入金返済による支出	△521	△583
自己株式の取得による支出	—	△58
財務活動による C F	△15	290
現金及び現金同等物の増減額	△11	371
現金及び現金同等物の期首残高	2,058	2,047
現金及び現金同等物の期末残高	2,047	2,419



2025 AHC GROUP INC.

キャッシュ・フローの状況はご覧の通りです。

2.2024年11月期 主要取組事項

主要取組事項①

11

2024年11月期は次年度以降の成長に向けた地盤作りを推進

事業所の開設・転換

- 福祉事業所の開設
- 就労継続支援 B 型
千葉県に 1 事業所を開設
 - 共同生活援助(グループホーム)
東京都に 1 事業所(10居室)を開設
 - 就労移行支援
東京都の既存 1 事業所をmanaby業態に転換

新たな成長に向けた
体制の構築

- 不振事業所の整理
- 介護事業所を 3 事業所閉鎖
営業体制の効率化
福祉・介護の事業を越えた人材の再配置
 - 外食事業所を 1 店舗閉鎖
効率的な店舗への人材の再配置



2025 AHC GROUP INC.

次に 2024 年 11 月期の主要な取組みを説明します。

2024 年 11 月期は次年度以降の成長に向けた土台作りとして、「事業所の開設・転換」「新たな成長に向けた体制の構築」に注力して実行しました。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

2.2024年11月期 主要取組事項 主要取組事項② 12

報酬改定の対応	改定に対応した体制の整備 ➢ 運営効率の向上 サービス提供時間帯の調整・変更 ➢ 改定に対応した人材の再配置 加算要件に応じた実務経験者の適正配置
新たな成長ドライバーの導入	2社と資本業務提携を締結 ➢ 株式会社manaby(就労移行支援) ➢ 株式会社パパゲーノ(就労継続支援B型・DX) ※2024年12月1日 完全子会社化



2025 AHC GROUP INC.

既存の事業所については、2024 年 4 月に行われた報酬改定に対応するため、サービス提供時間帯の調整や変更を行いました。さらに、加算要件に応じた実務経験者の配置を行うことで運営効率の向上に努めました。

また、新たな成長ドライバーについては、就労支援に関連した 2 社と資本業務提携を締結しました。なお、株式会社パパゲーノは 2024 年 12 月 1 日に完全子会社化しています。

2.2024年11月期 主要取組事項 業務提携の進捗 13



- 就労移行支援事業所「TODAY吉祥寺」を「manaby吉祥寺事業所」として 2024年8月1日にリニューアルオープン
- manaby独自のeラーニングを活用した学びの場を提供開始
※外出困難な方でも自宅でビジネススキルを学べる仕組みの導入
※Webデザインやプログラミングなどのコンテンツも充実



- 就労継続支援B型事業所「TODAY弁天」にて「パパゲーノ Work&Recovery」の運営プログラムを導入
- 就労継続支援B型事業所「TODAY喜多見」にて生成AIを活用した業務効率化を支援する「AI支援さん」を導入



2025 AHC GROUP INC.

続いて、資本業務提携を行った 2 社との進捗状況について説明します。

manaby については、就労移行支援事業所、「TODAY 吉祥寺」を「manaby 吉祥寺事業所」として 2024 年 8 月にリニューアルオープンしました。リニューアル後は manaby 独自の e ラーニングを活用した学びの場を提供開始しています。

パパゲーノについては、就労継続支援 B 型事業所「TODAY 弁天」においてパパゲーノの運営プログラムの一部を導入しました。また、「TODAY 喜多見」では生成 AI を活用して職員の業務効率化を支援する「AI 支援さん」を導入しました。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)

7083 東証グロース市場

決算説明

3.2025年11月期 通期業績予想 連結業績予想 14

- 事業所の新規開設を加速するとともに、完全子会社化したババゲーノで取り組んでいる支援記録アプリの導入を進め、事業の拡大を図る
- 売上高は6,622百万円(前期比5.6%増)、営業利益は172百万円(前期比18.7%増)、経常利益は163百万円(前期比5.4%増)と予想

(単位: 百万円)

	2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)		2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)		前期比 増減額	前期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	6,268	100.0%	6,622	100.0%	353	5.6%
営業利益	144	2.3%	172	2.6%	27	18.7%
経常利益	154	2.5%	163	2.5%	8	5.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	98	1.6%	110	1.7%	12	12.4%

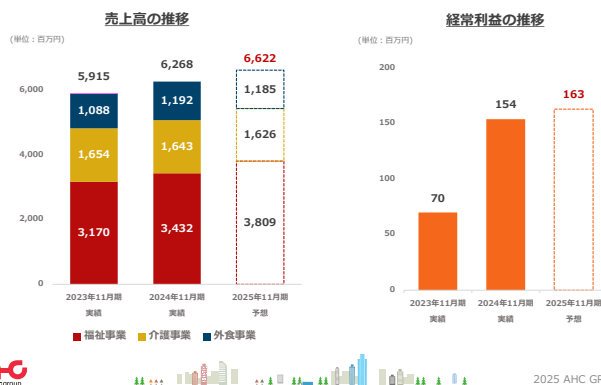


2025 AHC GROUP INC.

続いて、2025 年 11 月期通期業績予想を説明します。

2025 年 11 月期については、前期開設事業所は順調に立ち上がるとともに、既存事業所は前期と同様に推移するものと想定しています。さらに、新規事業所の開設も加速していきます。これらを踏まえて、通期業績予想は、連結売上高が前期比 5.6% 増の 66 億 2200 万円、営業利益が同 18.7% 増の 1 億 7200 万円、経常利益が同 5.4% 増の 1 億 6300 万円と想定しています。

3.2025年11月期 通期業績予想 連結業績予想（推移） 15



連結業績予想の推移は、新規事業所の開設および開設にかかる費用を想定していますが、グラフの通り、売上高・経常利益ともにプラスで推移するものと想定しています。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

3.2025年11月期 通期業績予想 セグメント別 売上・利益 予想 16

- 福祉事業は「就労継続支援 B 型事業所」や「生活介護事業所」を中心とした出店を強化
- 介護事業は前期閉鎖した施設の影響もあるものの効率化を進め収益改善を想定
- 外食事業は前期閉店した影響および物価の高騰による影響を考慮

(単位: 百万円)

		2024年11月期 実績 (2023/12~2024/11)	2025年11月期 予想 (2024/12~2025/11)	前期比 増減額	前期比 増減率
		金額	金額		
福祉事業	売上高	3,432	3,809	377	11.0%
	営業利益	267	284	17	6.4%
介護事業	売上高	1,643	1,626	△16	△1.0%
	営業利益	△28	39	67	-
外食事業	売上高	1,192	1,185	△7	△0.6%
	営業利益	80	64	△16	△20.1%
調整額	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△174	△216	△41	-
計	売上高	6,268	6,622	353	5.6%
	営業利益	144	172	27	18.7%

調整額: 各セグメントに帰属しない全社費用及びセグメント間取引消去



2025 AHC GROUP INC.

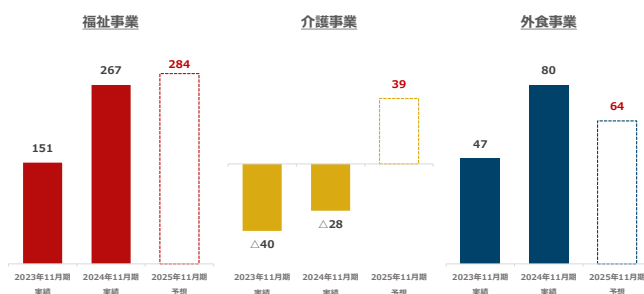
次に、セグメント別 売上・利益予想について説明します。

福祉事業は、就労継続支援 B 型や生活介護の事業所を中心とした出店を強化します。介護事業は事業所の減少による売上高への影響があるものの、運営の効率化を進め収益は改善するものと想定しています。外食事業は閉店した店舗の影響および物価の高騰による影響を想定しています。

これらの想定を踏まえて、福祉事業の売上高は前期比 11% 増の 38 億 900 万円、営業利益は同 6.4% 増の 2 億 8400 万円、介護事業の売上高は同 1% 減の 16 億 2600 万円、営業利益は 3900 万円の黒字に転換（前期 2800 万円の赤字）、外食事業の売上高は同 0.6% 減の 11 億 8500 万円、営業利益は同 20.1% 減の 6400 万円を想定しています。

3.2025年11月期 通期業績予想 セグメント別 利益推移 (営業利益) 17

(単位: 百万円)



2025 AHC GROUP INC.

セグメント別の営業利益推移はご覧の通りです。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)

7083 東証グロース市場

決算説明

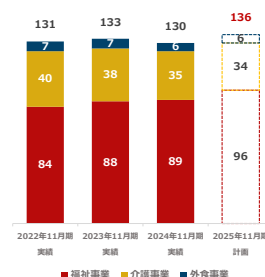
3.2025年11月期 通期業績予想 事業所（拠点）開設計画 18

2025年11月期は合計6事業所の開設計画

■福祉事業：6事業所の開設計画

- 就労継続支援B型事業所 2事業所
 - ・東京都 「パパゲーノ Work & Recovery 用賀」 他 1事業所
- 生活介護 2事業所
 - ・千葉県 「アプリケアワークス蘇我」
 - ・埼玉県 1事業所
- 共同生活援助（グループホーム） 1事業所
 - ・神奈川県 1事業所（7居室）
- 児童発達支援 1事業所
 - ・三重県 「アプリキッズ四日市小古曽」

事業所数の推移



2025 AHC GROUP INC.

続いて、新規事業所の開設計画について説明します。2025 年 11 月期は、6 事業所の開設を計画しています。内訳は、福祉事業で就労継続支援 B 型を 2 事業所、生活介護を 2 事業所、共同生活援助を 1 事業所 7 居室、児童発達支援を 1 事業所、計画しています。引き続き、福祉事業に注力した開設を進めていきます。

4.成長戦略

2つの成長戦略

19

事業の拡大とDXの推進により新たなステージを目指す

①事業の拡大

事業所の新規開設を加速

- 福祉事業所を6事業所開設
「就労継続支援B型」「生活介護」の需要に対応
「共同生活援助(グループホーム)」も充実させる
- パパゲーノの運営プログラムを積極的に導入
- M&Aによる事業の拡大も継続
- A I 支援記録アプリ「A I 支援さん」の販路開拓・拡大

②DXの推進

IT/AIを活用したDXの推進

- ITによる業務効率化
運営支援システムの導入、基幹システムの連携を強化することによる業務の負担減
- AIの活用を浸透
AIを活用し、業務の改革を推進



2025 AHC GROUP INC.

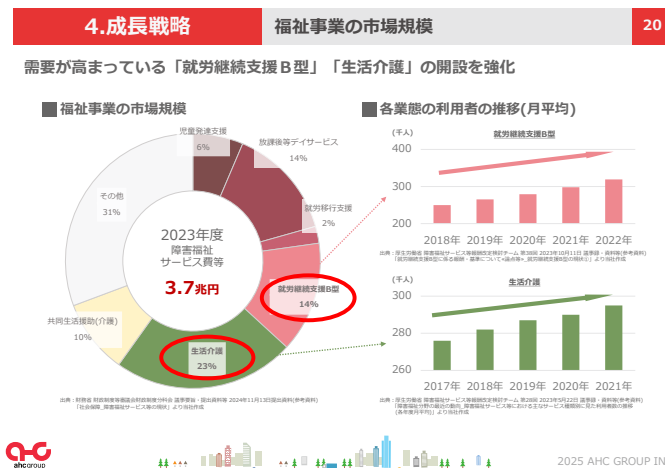
次に当社グループの成長戦略について説明します。
2点を成長戦略として推進していきます。

まず、事業の拡大にむけて、事業所の新規開設を加速させていきます。開設する業態は、学校卒業後に利用できる施設として需要の高まっている就労継続支援 B 型や生活介護に加え、共同生活援助も充実させていきます。就労継続支援 B 型では、パパゲーノの運営プログラムを積極的に導入していきます。さらに、M&A による事業の拡大も引き続き検討します。

AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

次に、DX の推進では、IT による業務効率化として運営システムの導入や基幹システムとの連携を強化し、従業員の業務負担を軽減させていきます。また、「AI 支援さん」などで得られた生成 AI の知見を他の業務にも拡大し、バックオフィスも含めたグループ全体の業務の改革を推進していきます。



今後、開設を加速させていく業態の就労継続支援 B 型および生活介護について、福祉事業の市場規模と割合、各業態の利用者数の推移はご覧の通りです。2023 年度の福祉事業の市場規模 3.7 兆円に対して、就労継続支援 B 型 14%、生活介護 23%と需要が高まっている中で、就労継続支援 B 型および生活介護の利用者数の月平均推移は堅調に増加しています。



AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)

7083 東証グロース市場

決算説明

4.成長戦略

「生活介護」について

22

当社が展開する生活介護

『自分らしく』過ごすことを通じ『生きがい』を見出せる生活の場を提供



アプリ

「ゆっくり居る居る居る空間」

1日の流れ

- 9:00～ 送迎
- 10:20～ 午前の活動(生産活動・訓練)
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 午後の活動(生産活動・訓練・外出・余暇)
- 15:30～ ティータイム
- 16:00～ 清掃活動
- 16:30～ 送迎

「アプリケアワークス 蘇我」
2025年2月 オープン予定

生活介護とは
常に介護を必要とする方に、主に昼間に、入浴、排せつ、食事の介護を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供



2025 AHC GROUP INC.

当社グループの運営する就労継続支援 B 型事業所の特徴、生活介護事業所の特徴についてはご覧の通りです。

4.今後の成長戦略

当社の事業ポートフォリオ

23

「社会福祉に特化した人生の総合サポート企業」を目指し、多様な業態を展開
顧客生涯価値(Life Time Value)の高い事業に注力



2025 AHC GROUP INC.

当社グループは「社会福祉に特化した人生の総合サポート企業」を目指して、多様な業態を展開し、Life Time Value の高い事業に注力しています。今後は、就労継続支援 B 型や生活介護の積極的な開設を行い、障害のある方が未就学から高齢となるまで、ワンストップで寄り添える事業展開をより強固なものとしていきます。

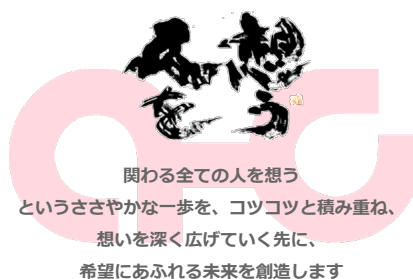
AHC グループ株式会社 | 2025 年 1 月 30 日 (木)
7083 東証グロース市場

決算説明

5.補足資料

企業理念

24



2025 AHC GROUP INC.

以上、2024 年 11 月期 決算説明とさせていただきます。
ご視聴いただき、ありがとうございました。

重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したもののですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは強く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp